

全国測量設計業協会連合会

全測連・近畿地区協議会活動報告

定例会

第2回

日 時 平成23年9月14日（水）午後3時～
場 所 ノボテル甲子園
議 題 全測連関係報告
当面の課題

国土交通省近畿地方整備局との
意見交換会

日 時 平成23年12月2日（金）午前10時～
場 所 近畿地方整備局 新館2F会議室

第3回

日 時 平成23年12月2日（金）午後1時～
場 所 大阪弥生会館
議 題 当面の課題について

近畿地区協議会総合調整委員会

日 時 平成23年12月2日（金）午後1時～
場 所 大阪弥生会館
議 題 災害応援協定について



土地家屋調査士会

完全復元伊能図全国巡回フロア展
大阪工大で開催

昨年10月28～30日の3日間、大阪工業大学の体育館を会場に「完全復元伊能図全国巡回フロア展」が開催された。この事業は日本土地家屋調査士会連合会が参画する「中央実行委員会」が全国各地で開催している社会広報事業の一環である。

展示は伊能地図の大图・中図・小図の原寸複写版を大きな体育館のフロアに展示しているのがメインで、他に伊能忠敬に関するパネル展示や国土地理院近畿地方測量部による「地形図と空中写真に見る明治以降の大阪の変遷」に関する諸資料の展示、さらに特別講演会として伊能忠敬研究会の代表理事星埜由尚氏（日本測量協会副会長・元国土地理院長）による講演会なども開催された。当日は大阪工業大学の学園祭期間中でもあり、入場無料ということで、たくさんの一般市民の方が来場されていた。やはりメインの伊能図に来場者の興味が集中し、研究会から星野氏や堀野正勝氏も常駐され、来場者の



△大阪近辺の地図

ナマの質問にも丁寧に応答されていた。

（資料・写真提供 大阪土地家屋調査士会広報部）

大阪会、追手門学院小学校で
測量体験会を開催

大阪土地家屋調査士会（松本充弘会長）は秋も深まった昨年10月31日（月曜日）早朝から大阪法務局（石井寛明局長）との共催行事として、大阪法務局近くの私立追手門学院小学校に於いて測

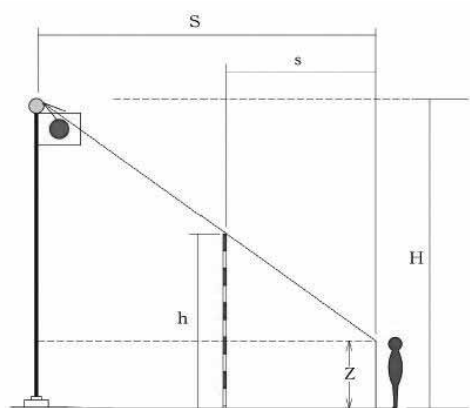
量体験授業会を実施した。同校の6年生を対象（当日は保護者の参観日でもあった）とした登記制度や測量などの重要性に触れていただくという社会貢献、制度PRを兼ねた事業である。

課題の一つ目はグラウンドに5角形の金属鋏を事前に打ち込み、この面積をテープ測量で算出する課題を想定。20名の生徒を8班に分けて1時限目45分間で実施した。三角形を3つ組み合わせて測量・計算作業。求積は底辺×高さの筆算によるもので、生徒は相当苦労して算出していたようである。



△体育館一杯に展示された伊能図

課題の2つ目は高さ測量とした。グラウンドに建立されている国旗ポールの高さを相似形で間接測距する方法で、これは定尺の赤白ポールと国旗ポールを測定者の目線で頭をそろえる位置に調整し、赤白ポールの距離と高さから国旗ポールの高さを三角形の相似で求める測量である。



休憩時間に法務局からお借りしたトランシットを体験するコーナーも設け、大阪城のシャチホコに視準を合わせてセッティングした。児童たちはその精度に驚いていたようである。保護者の方も結構楽しんでいた。

2時限目の終わりにそれぞれの課題の成果を披露し、学校側の要請で「正解」とは言わないように意識した。誤差を理解させる配慮のためである。「そこそこ」の精度を出せた班もあったようだ。最後に法務局の松本主席登記官から登記制度の概要説明、保護者の方に筆界特定制度のPRのご挨拶をいただいた。生徒には無記名のアンケートをお願いし、面白い意見が出ていた。

「トランシットの構造を知りたい」

「大阪城の高さを測りたい」

「学校の敷地の面積を測りたい」

「学校の緯度・経度を測りたい」

「もっとでかいものを測りたい」など。

難しいことや困ったことに対する答えは

「計算が難しかった」

「小数点の計算が合わなかった」など。

(資料・写真提供 大阪土地家屋調査士会広報部)

